令和７年度

授業シラバス・年間指導計画

英語（２年）

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅡ （L 英コミュ）	3	教科書:ELEMENT English Communication Ⅱ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)

授業形態アドバイスなど	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は，1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック（学習の振り返り）

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L5 How Our Mind Work	私たちの心理がどのように働くのかについての会話を聞き、概要や詳細を理解する。 Predictably Irrational を読み、概要や詳細を把握することができる。	自分たちの不合理さについて、理解したことをペアやグループで共有することができる。	自分たちが具体的にどのような場面で不合理な決断を行っているか、自分の経験を伝え合うことができる 。
	Further Reading I The True Story of the Bear behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容について自分が感心や興味を感じたことについて、理解したことをグループやペアで共有することができる。	自分達が持ち寄ったPoohの話を伝え合うことができる。
	L6 IT and Life	インドの観光ビデオを視聴し、その国の理解に努めるとともに、A Long Way Home を読み、概要や詳細を理解する。	聞いたり、読んだりしたものについて、自分の理解をペアやグループで共有することができる。	主人公が家族と再会できたのはなぜかについて自分の考えを伝えることができる。
	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise	子供の図書館の発展に尽くした女性についての話を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	本を読む習慣について考えを伝え合うと同時に、今まで読んだ本で、面白かった話について紹介することができる 。
	L 7 Advances in Medical Technology	自分の体調を説明する語や表現を理解している。Putting iPS Cells into Practice を読んで、要点や詳細を把握することができる。	教科書レベルの語彙を維持しながら、効果的に話の内容をペア、グループで共有することができる。	テクノロジーと医療に関する英文を読み、その課題について伝えることができる。
	Further Reading 3 Mouflon—The Dog of Florence	少年と犬の絆と家族の愛情についての物語を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	America のホームドラマを見て、日本の家族との精神的なつながりの違いについて気づいたことを伝え合うことができる。
	L8 A Tiny Step, A Big Impact	友人同士の会話を聞いて、物事の順番を整理できる。How We Got to Now With Glass を読み、概要や要点を把握することができる。 、	話の内容について、理解したことを説明し、ペアやグループで共有することができる。	自分たちで話の内容に関して調べたことを伝え合うことができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅡ （L 英コミュ）	2	教科書:ELEMENT English Communication Ⅱ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)
授業形態アドバイスなど	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は，1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック（学習の振り返り）

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L5 How Our Mind Work	私たちの心理がどのように働くのかについての会話を聞き、概要や詳細を理解する。 Predictably Irrational を読み、概要や詳細を把握することができる。	自分たちの不合理さについて、理解したことをペアやグループで共有することができる。	自分たちが具体的にどのような場面で不合理な決断を行っているか、自分の経験を伝え合うことができる 。
	Further Reading 1 The True Story of the Bear behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容について自分が感心や興味を感じたことについて、理解したことをグループやペアで共有することができる。	自分達が持ち寄ったPoohの話を伝え合うことができる。
	L6 IT and Life	インドの観光ビデオを視聴し、その国の理解に努めるとともに、A Long Way Home を読み、概要や詳細を理解する。	聞いたり、読んだりしたものについて、自分の理解をペアやグループで共有することができる。	主人公が家族と再会できたのはなぜかについて自分の考えを伝えることができる。
	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise	子供の図書館の発展に尽くした女性についての話を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	本を読む習慣について考えを伝え合うと同時に、今まで読んだ本で、面白かった話について紹介することができる 。
	L 7 Advances in Medical Technology	自分の体調を説明する語や表現を理解している。Putting iPS Cells into Practice を読んで、要点や詳細を把握することができる。	教科書レベルの語彙を維持しながら、効果的に話の内容をペア、グループで共有することができる。	テクノロジーと医療に関する英文を読み、その課題について伝えることができる。
	Further Reading 3 Mouflon—The Dog of Florence	少年と犬の絆と家族の愛情についての物語を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	America のホームドラマを見て、日本の家族との精神的なつながりの違いについて気づいたことを伝え合うことができる。
	L8 A Tiny Step, A Big Impact	友人同士の会話を聞いて、物事の順番を整理できる。How We Got to Now With Glass を読み、概要や要点を把握することができる。	話の内容について、理解したことを説明し、ペアやグループで共有することができる。	自分たちで話の内容に関して調べたことを伝え合うことができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅡ （R 英コミュ）	3	教科書:ELEMENT English Communication Ⅱ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方･考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質･能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識･技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手･読み手･話し手･書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)

授業形態アドバイスなど	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は，1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識･技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所･目的･状況などに応じて、日常的･社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手･読み手･話し手･書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート･アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート･アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック（学習の振り返り）

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L5 How Our Mind Work	私たちの心理がどのように働くのかについての会話を聞き、概要や詳細を理解する。 Predictably Irrational を読み、概要や詳細を把握することができる。	自分たちの不合理さについて、理解したことをペアやグループで共有することができる。	自分たちが具体的にどのような場面で不合理な決断を行っているか、自分の経験を伝え合うことができる 。
	Further Reading I The True Story of the Bear behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容について自分が感心や興味を感じたことについて、理解したことをグループやペアで共有することができる。	自分達が持ち寄った Pooh の話を伝え合うことができる。
	L6 IT and Life	インドの観光ビデオを視聴し、その国の理解に努めるとともに、A Long Way Home を読み、概要や詳細を理解する。	聞いたり、読んだりしたものについて、自分の理解をペアやグループで共有することができる。	主人公が家族と再会できたのはなぜかについて自分の考えを伝えることができる。
	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise	子供の図書館の発展に尽くした女性についての話を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	本を読む習慣について考えを伝え合うと同時に、今まで読んだ本で、面白かった話について紹介することができる 。
	L 7 Advances in Medical Technology	自分の体調を説明する語や表現を理解している。Putting iPS Cells into Practice を読んで、要点や詳細を把握することができる。	教科書レベルの語彙を維持しながら、効果的に話の内容をペア、グループで共有することができる。	テクノロジーと医療に関する英文を読み、その課題について伝えることができる。
	Further Reading 3 Mouflon—The Dog of Florence	少年と犬の絆と家族の愛情についての物語を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	America のホームドラマを見て、日本の家族との精神的なつながりの違いについて気づいたことを伝え合うことができる。
	L8 A Tiny Step, A Big Impact	友人同士の会話を聞いて、物事の順番を整理できる。How We Got to Now With Glass を読み、概要や要点を把握することができる。	話の内容について、理解したことを説明し、ペアやグループで共有することができる。	自分たちで話の内容に関して調べたことを伝え合うことができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅡ （R 英コミュ）	2	教科書:ELEMENT English Communication Ⅱ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)

授業形態アドバイスなど	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は，1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検 ○ワークシート・アチーブメントチェック	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検 ○アチーブメントチェック（学習の振り返り）

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L5 How Our Mind Work	私たちの心理がどのように働くのかについての会話を聞き、概要や詳細を理解する。 Predictably Irrational を読み、概要や詳細を把握することができる。	自分たちの不合理さについて、理解したことをペアやグループで共有することができる。	自分たちが具体的にどのような場面で不合理な決断を行っているか、自分の経験を伝え合うことができる 。
	Further Reading I The True Story of the Bear behind Winnie the Pooh	小熊と軍人のふれあいを描いた物語を読み、概要や詳細を理解する。	物語の内容について自分が感心や興味を感じたことについて、理解したことをグループやペアで共有することができる。	自分達が持ち寄ったPoohの話を伝え合うことができる。
	L6 IT and Life	インドの観光ビデオを視聴し、その国の理解に努めるとともに、A Long Way Home を読み、概要や詳細を理解する。	聞いたり、読んだりしたものについて、自分の理解をペアやグループで共有することができる。	主人公が家族と再会できたのはなぜかについて自分の考えを伝えることができる。
	Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise	子供の図書館の発展に尽くした女性についての話を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	本を読む習慣について考えを伝え合うと同時に、今まで読んだ本で、面白かった話について紹介することができる 。
	L 7 Advances in Medical Technology	自分の体調を説明する語や表現を理解している。Putting iPS Cells into Practice を読んで、要点や詳細を把握することができる。	教科書レベルの語彙を維持しながら、効果的に話の内容をペア、グループで共有することができる。	テクノロジーと医療に関する英文を読み、その課題について伝えることができる。
	Further Reading 3 Mouflon—The Dog of Florence	少年と犬の絆と家族の愛情についての物語を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	話の内容について、理解したことをペアやグループで共有することができる。	America のホームドラマを見て、日本の家族との精神的なつながりの違いについて気づいたことを伝え合うことができる。
	L8 A Tiny Step, A Big Impact	友人同士の会話を聞いて、物事の順番を整理できる。How We Got to Now With Glass を読み、概要や要点を把握することができる。	話の内容について、理解したことを説明し、ペアやグループで共有することができる。	自分たちで話の内容に関して調べたことを伝え合うことができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科・理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅢ （L 英コミュ）	1	教科書:ELEMENT English Communication Ⅲ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は，2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので，3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりしましょう。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 Energy	バイオ燃料の説明を聞いて理解する。Numbers Don't Lie を読んで、概要を把握することができる。	数値を効果的に使って、自分たちの理解をペア・グループで共有することができる。	数値を効果的に使って、与えられた話題について議論を交わすことができる。
	L2 Environment And Life	イギリスの電球の規格についてのニュースを聞き取る。Environment or Orangutans?を読んで、情報と事実を整理しながら概要を把握することができる。	自分たちの理解を互いに補完し合いながら、情報を整理し、グループ・ペアで共有することができる。	環境か経済活動かなど、関連素材を読んで、お互いの考えをやりとりすることができる。SDGsに関心を持つ。
	L3Health and Life	弱冷房車についてのアナウンスを聞く。睡眠不足についてのパッセージを読んで、概要を把握することができる。	睡眠不足による健康障害についての理解をグループ・ペアで共有することができる。	質のよい眠りを獲得するためにはどうすればよいか、自分の経験や調べたことをお互いに共有することができる。
	L4 Humans and Technology	AI に関するイベントの説明を聞いて理解する。デジタル化によって人間の記憶力について読んで、概要を把握することができる。	デジタル化によって変わる人間の記憶力について2種類のパッセージを読み、その理解をその場で共有することができる	我々が大事にしなくてはならないものは何か、自分の考えを発信することができる
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科・理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
外国語	英語コミュニケーションⅢ （R 英コミュ）	1	教科書:ELEMENT English Communication Ⅲ[啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は，2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので，3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりしましょう。また，提出物は期限を守って下さい。そのためには，計画的な取り組みが必要です。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 Energy	バイオ燃料の説明を聞いて理解する。Numbers Don't Lie を読んで、概要を把握することができる。	数値を効果的に使って、自分たちの理解をペア・グループで共有することができる。	数値を効果的に使って、与えられた話題について議論を交わすことができる。
	L2 Environment And Life	イギリスの電球の規格についてのニュースを聞き取る。Environment or Orangutans?を読んで、情報と事実を整理しながら概要を把握することができる。	自分たちの理解を互いに補完し合いながら、情報を整理し、グループ・ペアで共有することができる。	環境か経済活動かなど、関連素材を読んで、お互いの考えをやりとりすることができる。SDGsに関心を持つ。
	L3Health and Life	弱冷房車についてのアナウンスを聞く。睡眠不足についてのパッセージを読んで、概要を把握することができる。	睡眠不足による健康障害についての理解をグループ・ペアで共有することができる。	質のよい眠りを獲得するためにはどうすればよいか、自分の経験や調べたことをお互いに共有することができる。
	L4 Humans and Technology	AI に関するイベントの説明を聞いて理解する。デジタル化によって人間の記憶力について読んで、概要を把握することができる。	デジタル化によって変わる人間の記憶力について2種類のパッセージを読み、その理解をその場で共有することができる	我々が大事にしなくてはならないものは何か、自分の考えを発信することができる
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科・理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
英語	論理・表現Ⅱ （L 論表）	2	教科書：Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace [啓林館] 副教材：教科書準拠ワークブック[啓林館]

学習のねらい	「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ，「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに，論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり，伝え合ったりすることができる能力を養う。 具体的な活動と領域は以下の通り。 (1) 話すこと[やり取り] 日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張，課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えあうことができるようにする。 (2) 話すこと[発表] 日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと 日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

授業形態 アドバイス など	2年生では，1年次に学んだ基礎を有効に使いながら、自分の言葉で表現することを目指しています。学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させましょう。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 [技能] 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・読み手など他者に配慮しながら，主体的・自律的に表現しようとている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○ペアワーク・プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 適切な主語を用いる （主語の選択・名詞句・形式主語）	主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を学び、適切な主語の使い方を理解できる。	自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して伝えることができる。	将来の目標について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L2 適切な動詞を用いる （自動詞と他動詞・群動詞）	自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てることができる。	自分の高校の行事について紹介する文章を、事項を列挙しながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	学校生活について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L3 時を表す （現在・過去・未来）	現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造について理解することができる。	自分の好きなアスリートと実績について例を挙げながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	スポーツについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L4 義務・必要・推量を表す （助動詞）	義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、比較・対照の表現を意識して伝えることができる。	ソーシャルメディアについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L5 情報を加える(1) （形容詞・分詞・不定詞）	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	エネルギーの過剰使用によって引き起こされる問題について、原因・理由・結果を意識して伝えることができる。	環境問題や電力消費について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L6 情報を加える(2) （関係代名詞・関係副詞）	関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	訪れたい国とその国の文化について、主張や理由の根拠となる情報を示しながら、詳しく伝えることができる。	異文化理解について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L7 情報を加える(3) （不定詞副詞的用法・分詞）	不定詞の副詞的用法や分詞を使った副詞的などの修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要や要点をまとめることができる。	外国語の学習について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L8 情報を伝える （直接話法・間接話法）	直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てることができる。	日本の教育制度に関するプレゼンテーションを聞き、文章全体の概要や要点をまとめ、ペアやグループで議論することができる。	日本の社会や職場環境について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L9 仮定を表す （条件・仮定）	条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	宝くじが当たったという仮定の状況を想定して自分の考えをまとめ、スピーチの原稿を作成し発表することができる。	仮定した状況や願望について、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L10 数量を表す （可算名詞・不可算名詞、割合・数量の変化）	可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	AIと共に働くときに重要なことについて、自分の考えや根拠をもとにプレゼンテーションを作成し、資料やデータなどを提示しながら発表することができる。	科学技術の影響について、自分の考えをパートナーと共有することができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L11 比較を表す （原級比較・比較級・最上級）	原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	「7時間以上の睡眠を取るべきか」という議題について賛否の意見を考え、伝えることができる。	健康的なライフスタイルについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L12 否定を表す （部分否定・準否定）	否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	チョコレートを販売するうえで重要なことについて自分の主張を考え、根拠となる資料を示しながらグループで話して伝えあうことができる。	商品の購入やビジネスについて、自分の考えをパートナーと共有することができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科・理数科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
英語	論理・表現Ⅱ （R 論表）	2	教科書：Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace [啓林館] 副教材：教科書準拠ワークブック[啓林館]

学習のねらい	「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ，「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに，論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり，伝え合ったりすることができる能力を養う。 具体的な活動と領域は以下の通り。 (1) 話すこと[やり取り] 日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張，課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えあうことができるようにする。 (2) 話すこと[発表] 日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと 日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，多様な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

授業形態 アドバイス など	2年生では，1年次に学んだ基礎を有効に使いながら、自分の言葉で表現することを目指しています。学校で学習した内容はその日のうちにワークブックを用いて復習し、授業で「分かった」ことを定着させましょう。わからない箇所は参考書を読みながら確認しましょう。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 [技能] 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・読み手など他者に配慮しながら，主体的・自律的に表現しようとている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○ペアワーク・プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 適切な主語を用いる （主語の選択・名詞句・形式主語）	主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を学び、適切な主語の使い方を理解できる。	自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して伝えることができる。	将来の目標について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをより詳しくパートナーと共有することができる。
	L2 適切な動詞を用いる （自動詞と他動詞・群動詞）	自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てることができる。	自分の高校の行事について紹介する文章を、事項を列挙しながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	学校生活について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L3 時を表す （現在・過去・未来）	現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造について理解することができる。	自分の好きなアスリートと実績について例を挙げながらパラグラフの構成を意識して伝えることができる。	スポーツについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L4 義務・必要・推量を表す （助動詞）	義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、比較・対照の表現を意識して伝えることができる。	ソーシャルメディアについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L5 情報を加える(1) （形容詞・分詞・不定詞）	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	エネルギーの過剰使用によって引き起こされる問題について、原因・理由・結果を意識して伝えることができる。	環境問題や電力消費について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L6 情報を加える(2) （関係代名詞・関係副詞）	関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	訪れたい国とその国の文化について、主張や理由の根拠となる情報を示しながら、詳しく伝えることができる。	異文化理解について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L7 情報を加える(3) （不定詞副詞的用法・分詞）	不定詞の副詞的用法や分詞を使った副詞的などの修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要や要点をまとめることができる。	外国語の学習について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L8 情報を伝える （直接話法・間接話法）	直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てることができる。	日本の教育制度に関するプレゼンテーションを聞き、文章全体の概要や要点をまとめ、ペアやグループで議論することができる。	日本の社会や職場環境について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L9 仮定を表す （条件・仮定）	条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てることができる。	宝くじが当たったという仮定の状況を想定して自分の考えをまとめ、スピーチの原稿を作成し発表することができる。	仮定した状況や願望について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L10 数量を表す （可算名詞・不可算名詞、割合・数量の変化）	可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	AIと共に働くときに重要なことについて、自分の考えや根拠をもとにプレゼンテーションを作成し、資料やデータなどを提示しながら発表することができる。	科学技術の影響について、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	L11 比較を表す （原級比較・比較級・最上級）	原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	「7時間以上の睡眠を取るべきか」という議題について賛否の意見を考え、伝えることができる。	健康的なライフスタイルについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
	L12 否定を表す （部分否定・準否定）	否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てることができる。	チョコレートを販売するうえで重要なことについて自分の主張を考え、根拠となる資料を示しながらグループで話して伝えあうことができる。	商品の購入やビジネスについて、論理の構成や展開を工夫して、自分の考えをパートナーと共有することができる。
備考				

令和７年度　岡山県立倉敷天城高等学校　普通科２年　シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教　材
英語	ABLEα	1	Jet Reading 英語速読テスト Level 2（数研出版） More Time for Listening Book 2（エスト出版）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の５つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）

授業形態アドバイスなど	普通科文系の選択科目です。予習を前提とせず、その場で辞書を使用せずに速読長文を初見読みし、実戦的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペア・ワークで意見交換をすることによって、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。同様に、長文の主題に関する、パラグラフ・ライティングにも挑戦します。４技能をバランス良く伸ばしていきましょう。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識･技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所･目的･状況などに応じて、日常的･社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手･読み手･話し手･書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え，批判的に掘り下げ，創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフィーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Unit 1（Arnold Shultz） Lesson1（社会／説明文） Unit 2（大きな決断） Lesson2（生活／ｳｪﾌﾞｻｲﾄ） Unit 3（サンドイッチ） Lesson3（歴史／伝記） Unit 4（国際見本市） Lesson 4（ｽﾎﾟｰﾂ／説明文） Unit 5（マウンテン・デパート） Lesson 5（動物／説明文） Unit 6（お祝いの歌） Lesson 6（生活／広告） Unit 7（新居） Lesson 7（教育／会話）	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している 【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握するこ	【聞くこと】 ・理解できないとき，確認したり，繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて，情報や考えなど相手が伝えようとすることを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について正しく理解することができる。 【読むこと】 ・理解できないところがあっても，推測するなどして読み続けている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的，主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり，必要に応じてメモを取るなど，相手の話 に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで，コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても，推測するなどして聞き続ける。

後期	Unit 8（サッカーの歴史） Lesson 8（科学／評論） Unit 9（生き方） Lesson 9（生活／エッセイ） Unit 10（エミリーのブログ） Lesson 10（社会／ブログ） Unit 11（贈り物の選び方） Lesson 11（文化／説明文） Lesson 12（環境／説明文） Unit 12（あるカエルの生態） Lesson 13（歴史／物語） Lesson 14（仕事／メール） Unit 13（幸福とは） Lesson 15（文化／評論） Lesson 16（教育／ｽﾋﾟｰﾁ） Unit 14（どちらが正しいか） Lesson 17（医療／評論） Lesson 18（社会／説明文） Lesson 19（科学／説明文） Unit 15（グラバトロジスト） Lesson 20（歴史／説明文） Lesson 21（社会／グラフ） Lesson 22（文化／説明文）	とができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。 ・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【話すこと】 ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。 ・日常的な話題について，英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的，主体的に取り組んでいる。 ・間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し，意欲的に書	日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて，音読したり暗唱したりすることができる。 日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。 【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて，話すことができる。 ・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について，場面や目的に応じて，英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容，場面，相手，目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に応答することができる。 ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。 【書くこと】 ・日常的な話題について，得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な話題について，場面や目的に応じて，英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し，必要な分量を書くことができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的，主体的に取り組んでいる。 ・必要に応じてメモを取るなど，読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 さまざまな工夫をすることで，コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。 【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的，主体的に取り組んでいる。 ・間違うことを恐れず自分の考えなどを話している。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 ・さまざまな工夫をすることで，コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・うまく言えないことがあっても，別の語句や表現で言い換えたり，説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・つなぎ言葉を用いるなど，不自然な沈黙をせず話し続けている。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的，主体的に取り組んでいる。 ・間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し，意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを

		き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで，コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように，別の語句や表現で言い換えたり，説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。	・伝えたい内容，場面，読み手，目的などに応じて，語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	活用している。 ・さまざまな工夫をすることで，コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように，別の語句や表現で言い換えたり，説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				